

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地球環境戦略研究機関拠出金		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度～未定		担当課室	総務課研究調査室		室長 辻原 浩	
会計区分	一般会計		政策・施策名	2. 地球環境の保全 2-3 地球環境保全に関する調査研究			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>・(公財)地球環境研究戦略機関(IGES)は、国連環境開発特別総会(平成9年6月)における政府代表演説において「地球環境戦略研究機関による戦略研究の国際的ネットワークづくりを支援する。」旨表明に沿って、10ヶ国の行政機関、4つの国際機関、21の国際的研究機関の署名による設立憲章に基づき、平成10年3月に発足した。</p> <p>・我が国の顔が見える国際的研究機関の活動を支援することを通じ、国際的な環境政策の発展及び持続可能な成長に貢献していくことを目的とする。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>・IGESでは、これまでの活動により築いたネットワークや知名度も活かしつつ、顕在化する環境危機に対してより迅速に取り組み、アジア太平洋地域の途上国をはじめとした各国政府、国際機関の環境政策に採用されるような研究成果を提示していくこととしている。さらに単なる研究のみならず、政府間の情報交換の促進や政策形成の支援といった、民間では実施できない高度な公共性及び国際性を要する業務を進めている。</p> <p>・このような活動を行うアジア太平洋地域唯一の国際的環境政策研究機関として、アジア太平洋地域の持続可能な開発に向けた取組みに貢献する研究をリードするため、拠出金により支援するもの。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	500	500	500	500	
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
	計	500	500	500	500	500	
	執行額	500	500	500			
執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	アジア太平洋地域の途上国をはじめとした各国政府、国際機関、企業等の環境施策に採用されるようなタイムリーで質の高い研究成果を提示することにより、我が国の国際環境協力の核となる組織として確立する。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①学術論文・政策論文の発表数 ②国際会議等の開催 ③国際ネットワーク事務局等への指定 ※定量的指標の一例として記載		活動実績 (当初見込み)	①206 ②94 ③12	①298 ②95 ③12	①422 ②116 ③12	-
				(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/ -)		算出根拠	本事業の成果はインプットとアウトプットが単一の指標で直接結びつかないものであるため、単位あたりのコストを算出することができない。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	経済協力開発機構等拠出金	500	500	-			
	計	500	500				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国際貢献とともに、我が国の国際的な立場を確保することを目的とした拠出金であり、国民全体の利益に資するものであるため、国が行うことが適当である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	多くの国際的なネットワークの事務局に指定される実績があり、我が国の国際的な立場を確保することに十分に貢献している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	引き続き研究の質の維持・向上を図りつつ、管理的経費については節減を図ることとし、環境省ではその実施状況の把握に努めていく。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	必要最低限の要求額とした。				
備考					
○公益財団法人 地球環境戦略研究機関 ホームページ http://www.iges.or.jp/					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	018	平成23年	015	平成24年	015

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
500百万円

平成24年度地球環境戦略研究機関拠出金
(内容)
持続可能な開発の実現に向けた革新的な政策手法の
開発や、環境保全に関する政策構築のための戦略研究を
推進している、地球環境戦略研究機関の活動を、拠出金
により支援する。



A. (公財)地球環境戦略研究機関
500百万円

第5期戦略研究プロジェクトの実施
①気候変動グループ
②自然資源管理グループ
③持続可能な消費と生産グループ
④経済と環境グループ
⑤ガバナンスと能力グループ
⑥ネットワークと戦略的オペレーション

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位：百万
円)

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(公財)地球環境戦略研究機関					
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	拠出金	地球環境戦略研究機関拠出金	500			
	計		500	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)地球環境戦略研究機関	第5期戦略研究プロジェクトの実施 ①気候変動グループ ②自然資源管理グループ ③持続可能な消費と生産グループ ④経済と環境グループ ⑤ガバナンスと能力グループ ⑥ネットワーキングと戦略的オペレーション	500	拠出金	—